

ひまわり  
プランニング



- 評価の計画を立てることの重要性
- 「指導に生かす評価」と「指導に生かすとともに記録して総括に用いる評価」

指導と評価の一体化

効果的な机間指導のために

- クラス全体の学習状況の把握  
→集中度、課題理解状況、時間配分
- 生徒の反応を見とり、どのように授業に生かすか  
→発言を取り上げる順番など
- 指導の手立ては、事前に考えておく  
→CをBにするために、発展課題を与える
- 少しかがんで生徒の目線と同じ方向と高さで行う  
→2列同時に、後ずさりしながら見やすい



価値の法と活用 (疑問)とをもちに～

机間指導

授業のユニバーサルデザイン化

「教育のユニバーサルデザイン～小中一貫教育（小中連携）の視点から～  
神奈川県立総合教育センター（平成30年3月）をもとに作成

東中中学校  
指導録

東中学校 校内研究授業見学用指導案		教科《 》	学年
( ) グループ 授業者			
実施予定の授業日時	月 日 校時	年 組 ( 教室)	
	月 日 校時	年 組 ( 教室)	
	月 日 校時	年 組 ( 教室)	
単元名	特に意識したいものを、2～3点程度選んで記入する。		
単元の目標			
「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり」の中で特に意識したこと			
③説明や指示の際は、聴覚情報以外の情報も併用する。			
⑩授業の最後に「わかった」という実感を持たせることができるようにする。			
単元授業計画			
学習活動	授業内容	観点	★方法と活用
	①一次関数について考えようとしている。	(★行動の観察)	
(本時は太枠で示す)			
観点と評価規準を記載する。			
★方法と活用 (どのように評価するのか、この活動からみとるのかを記述する)			
(評価したものをどのように生かすのか、を検討しておくこと。2種類に分けて以下のように)			
★指導に生かす評価、★指導に生かすとともに記録して総括に用いる評価)			
本時の目標			
時間	学習活動	本時の展開	授業内評価 (観点★方法と活用)
0			
10			
30	(注目する時間帯を太枠で示す。この時間帯を中心に参照してください)		
45			

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり	
授業の構成	A
	①「導入」「展開」「まとめ」に一貫性を持たせる。
	②生徒にとって適切な学習活動の時間を設定する。
	③生徒にとって効果的な学習形態(個人・ペア・グループ)で行う。
	④生徒にとって効果的な、課題の解決に向けたしかけや支援をする。
⑤生徒にとって適切な課題の難易度を設定する。	
教材や教具	B
	⑥板書は、授業の流れや内容をとらえやすいように構造化する。
	⑦板書は、どの席からも見やすい字の大きさや行間、色づかいにする。
	⑧ノートやワークシートとの関連を図って、板書する。
	⑨教材や教具は、操作の難易度を生徒にとって適切なものにする。
⑩教材や教具は、課題解決の支援として効果的なものにする。	
説明やし指示	C
	⑪話し方は、スピードや間の取り方を生徒に合わせて。
	⑫話し方は、短文を用いて要点を明確にする。
	⑬説明や指示の際は、聴覚情報以外の情報も併用する。
	⑭説明や指示の際は、曖昧な表現を避け具体的な表現を使う。
⑮説明や指示の際は、一指示一活動を心掛ける。	
授業の本時のポイント	D
	⑯本時の学習への意欲を高め「ひきつける」ことを意識する。
	⑰授業のねらいをしぼって「方向づける」ことを意識する。
	⑱生徒同士の思考を「むすびつける」ことを意識する。
	⑲生徒の理解をこまめに「そろえる」ことを意識する。
⑳授業の最後に「わかった」という実感を持たせることを意識する。	

特に意識したいものを、2/3程度選んで記入

授業内評価

